

# 殺虫剤

協友

## コテツ®フロアブル

クロルフェナビル..... 10.0%

種類名/クロルフェナビル水和剤

登録番号/第23444号

毒性/劇物

有効年限/5年

包装/250ml×40、500ml×20

### 特 長

- コナガ、ミナミキイロアザミウマ、ナミハダニ、カンザワハダニなどの難防除害虫に対して高い防除効果を示します。
- ユニークな作用性を有し、殺虫剤として唯一のピロール系呼吸系阻害剤です。
- コナガ、アザミウマ類の成幼虫ともに高い効果があります。また、ハダニ類に対し、卵から成虫までいずれの発育ステージに処理しても高い効果を示します。

### 適用害虫と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用 回数*	使用方法
りんご	キンモンホソガ ナミハダニ ハマキムシ類 ミノガ類	2000倍	200～ 700 ℓ	収穫前日まで	2回	散布
	ヨモギエダシャク リンゴサビダニ	2000～ 4000倍				
もも	ミカンキイロアザミウマ	2000倍				
	モモハモグリガ カンザワハダニ ナミハダニ モモサビダニ ウメシロカイガラムシ					
ネクタリン	ミカンキイロアザミウマ	2000～ 4000倍				
	ナミハダニ カンザワハダニ チャノキイロアザミウマ オウトウショウジョウバエ ウメシロカイガラムシ	2000倍				
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ ミカンキイロアザミウマ ブドウサビダニ ハマキムシ類	2000～ 4000倍				
	ナミハダニ カンザワハダニ ハスモンヨトウ トビイロトラガ モンキクロノメイガ コガネムシ類 ミノガ類 ブドウハモグリダニ	2000倍				

(つづく)

作物名	通用害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用 回数*	使用方法										
か き	ナミハダニ カンザワハダニ	2000倍	200～ 700ℓ	収穫14日前まで	2回	散布										
	カキノヘタムシガ イラガ類 アザミウマ類 カキサビダニ	2000～ 4000倍														
な し	ナミハダニ カンザワハダニ ニセナシサビダニ	2000～ 3000倍		200～ 700ℓ	収穫前日まで		3回	散布								
	ヨモギエダシヤク チャノキイロアザミウマ	2000倍														
か ん き つ	ヨモギエダシヤク ハスモンヨトウ リュウキュウミカンサビダニ カネタタキ スグリソウムシ	2000～ 4000倍					200～ 700ℓ		収穫前日まで	2回	散布					
	アザミウマ類 (ネギアザミウマを除く) チャノホコリダニ ミカンサビダニ	2000～ 6000倍														
い ち じ く	ヒラズハナアザミウマ カンザワハダニ ショウジョウバエ類	2000倍							100～ 300ℓ	収穫14日前まで		3回	散布			
小粒核果類	オウトウハダニ ウメシロカイガラムシ イラガ類															
キウイフルーツ	キウイヒメヨコバイ コガネムシ類									収穫14日前まで		3回		2回	散布	
マ ン ゴ ー	チャノキイロアザミウマ															
ゴ レ ン シ	カンザワハダニ		収穫前日まで			3回				2回		散布				
ブルーベリー	イラガ類 オウトウショウジョウバエ															
あ す き	ハダニ類 ノメイガ類		2000倍	100～ 300ℓ	収穫3日前まで	2回		散布								
豆 類 (未成熟、但し、 えだまめ、実えん どう、さやえん どう、さやいんげん を除く)	ハダニ類															
え だ ま め	ハダニ類 コフキソウムシ				収穫前日まで		3回				2回					散布
さやいんげん	ハダニ類 アズキノメイガ															
実えんどう さやえんどう	ハダニ類 ハスモンヨトウ	3回			2回		2回		散布							
き ゆ う り	ミカンキイロアザミウマ ミナミキイロアザミウマ ハダニ類 ウリノメイガ ウリハムシ															
う り 類 (漬物用)	ミナミキイロアザミウマ ハダニ類	2回														

(つづく)

作物名	通用害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用 回数*	使用方法	
す い か	ミナミキイロアザミウマ	4000倍	100～ 300 ℓ	収穫前日まで	2回	散布	
	ハダニ類 オオタバコガ ウリノメイガ	2000倍					
に が う り か ぼ ち ゃ (日本かぼちゃ)	ミナミキイロアザミウマ				3回		
ト マ ト ミニトマト	オオタバコガ ミカンキイロアザミウマ ナミハダニ トマトサビダニ トマトキバガ						
な す	ミカンキイロアザミウマ ミナミキイロアザミウマ チャノホコリダニ ハダニ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ ヨトウムシ テントウムシダマシ類				4回		
	ビ ー マン とうがらし類 (ししとうを 除く)						ミカンキイロアザミウマ ミナミキイロアザミウマ オオタバコガ ハダニ類
し し とう	ヒラズハナアザミウマ				4000倍		
キ ャ ベ ツ	コナガ アオムシ タマナギンウワバ ハスモンヨトウ ヨトウムシ シロイチモジヨトウ オオタバコガ ハイマダラノメイガ				2000倍		2回
	ブロッコリー						
茎ブロッコリー	アオムシ						収穫前日まで
カリフラワー	コナガ	収穫3日前まで					
ザ ー サイ	ハスモンヨトウ	収穫14日前まで					
メキャベツ 非結球メキャベツ		収穫7日前まで					
な ば な 類		収穫3日前まで					
は く さ い	コナガ アオムシ ヨトウムシ カブラハバチ	収穫前日まで					
非結球あぶらな 科葉菜類(こまつな、チンゲンサイ、なばな類、非結球はくさい、非結球メキャベツを除く)	コナガ	1回	収穫14日前まで				

作物名	通用害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用 回数*	使用方法	
チンゲンサイ	コナガ	2000倍	100～ 300 ℓ	収穫7日前まで	1回	散布	
非結球はくさい	アオムシ コナガ			収穫3日前まで	2回		
こまつな	アオムシ コナガ ハクサイダニ				1回		
だいこん	アオムシ コナガ ダイコンサルハムシ			収穫14日前まで	2回		
かぶ	コナガ ナモグリバエ ヨトウムシ			収穫前日まで			散布 但し花穂の発 生期にはマル チフィルム被覆 により散布液 が直接花穂に 飛散しない状 態で使用する
みょうが (花穂)	ハダニ類						
みょうが (茎葉)				みょうが(花穂)の 収穫前日まで 但し、花穂を収穫 しない場合にあって は開花期終了まで			
いちご	ハダニ類 ハスモンヨトウ シクラメンホコリダニ ミカンキイロアザミウマ			収穫前日まで			
ねぎ	シロイチモジヨトウ ヒョウタンゾウムシ類 ネギハモグリバエ ネギコガ			収穫7日前まで			
オクラ	ハスモンヨトウ オオタバコガ			収穫前日まで		散布	
レタス	ハスモンヨトウ オオタバコガ ナモグリバエ ヨトウムシ						
モロヘイヤ	アザミウマ類						
あしたば	ウドノメイガ			収穫7日前まで			
やまのいも	カンザワハダニ ナガイモコガ	収穫前日まで					
やまのいも (むかご)		収穫3日前まで					
かんしょ		ハスモンヨトウ ハダニ類	収穫前日まで				
	ヨツモンカメノコハムシ シロイチモジヨトウ	2000～ 4000倍					
	ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ	16倍	1.6 ℓ	無人航空機 散布			

(つづく)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用 回数*	使用方法	
は す い も (葉柄)	カンザワハダニ ハスモンヨトウ	2000倍	100～ 300 ℓ	収穫前日まで	2回	散布	
さ と い も				収穫7日前まで			
さ と い も (葉柄)				収穫3日前まで			
アスパラガス	ハダニ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ ジュウシホシクビナガハムシ ヨトウムシ		100～ 500 ℓ	収穫前日まで	2回		
ふ き	ハスモンヨトウ ハダニ類		収穫7日前まで				
ふ き (ふきのとう)			収穫90日前まで				
て ん さ い	ヨトウムシ ハダニ類 カメノコハムシ		収穫7日前まで				
セ ル リ ー	ヨトウムシ		収穫14日前まで				
に ん じ ん	ヨトウムシ キアゲハ ヒョウタンゾウムシ類		収穫前日まで				
み つ ば	ハスモンヨトウ		100～ 300 ℓ	収穫14日前まで但し、 伏せ込み栽培は 伏せ込み前まで	1回		
みしまさいこ		収穫21日前まで		2回			
エ ン サ イ		収穫3日前まで					
コリアンダー(葉) やなぎたで		収穫7日前まで	1回				
つるむらさき		収穫14日前まで	2回				
しゅんぎく		収穫前日まで					
しょうが		32倍	3.2 ℓ	収穫前日まで	2回	無人航空機 散布	
葉ごぼう		ハダニ類 ヨトウムシ	2000倍	100～ 300 ℓ	収穫7日前まで	3回	散布
すいぜんじな					収穫前日まで	2回	
よ も ぎ		ミナミキイロアザミウマ			収穫3日前まで	1回	
葉にんにく	ハダニ類	収穫14日前まで			2回		
つわぶき とうき		収穫前日まで					
せんきゅう		収穫90日前まで					
たらのき		親株養成期 但し、 収穫90日前まで			3回		
はまぼうふう (葉)							

(つづく)

作物名	通用害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用 回数*	使用方法	
う ど	シクラメンホコリダニ	2000倍	100～ 300 ℓ	根株養成期 但し、 収穫75日前まで	2回	散布	
ほうれんそう	ホウレンソウケナガコナダニ	4000～ 6000倍		2葉期まで 但し、 収穫14日前まで	1回		
さんしょう (果実)	チャノキイロアザミウマ	4000倍	200～ 700 ℓ	収穫7日前まで	2回		
とうもろこし 飼料用とうも ろこし(子実) ヤングコーン	ハダニ類 オオタバコガ ツマジロクサヨトウ	2000倍	100～ 300 ℓ	収穫前日まで			
食用プリムラ	ハスモンヨトウ ヨトウムシ類 ハダニ類 ミカンキイロアザミウマ			収穫14日前まで			
食用金魚草 食用なでしこ 食用エキザカム 食用せんいちこう 食用トレニア 食用パンジー	ミカンキイロアザミウマ ヨトウムシ類 ハダニ類			収穫3日前まで			
食用ミニバラ				収穫14日前まで			
なんてん(葉)	アザミウマ類						
茶	チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ カンザワハダニ チャノナガサビダニ チャノホコリダニ シャクトリムシ類 チャノコカクモンハマキ マダラカサハラハムシ チャトゲコナジラミ			200～ 400 ℓ			摘採 7日前まで
食用ぎく	ミカンキイロアザミウマ ミナミキイロアザミウマ ヨトウムシ類			100～ 300 ℓ			収穫3日前まで
きく(葉)	ハダニ類 オオタバコガ			150～ 300 ℓ			収穫7日前まで
きく	アワダチソウガンバイ						
ストック	コナガ アオムシ ヨトウムシ類 ハダニ類 ミカンキイロアザミウマ			200～ 700 ℓ	発生初期		
花き類・ 観葉植物 (きく、ストック を除く)	ヨトウムシ類 ハダニ類 ミカンキイロアザミウマ						
しきみ	クスアナアキソウムシ	60倍	6～21 ℓ	無人航空機 散布			
アザレア	チャノホコリダニ	2000倍	100～ 300 ℓ	散布			

作物名	適用場所	適用害虫名	10a当り使用量		使用時期	総使用回数*	使用方法
			使用量	使用液量			
みかん	温室、ガラス室等密閉できる場所	ミカンキイロアザミウマ	300mℓ	10ℓ	収穫前日まで	2回	常温煙霧
ぶどう		チャノキイロアザミウマ	150mℓ	6ℓ	収穫14日前まで		

### 上手な使い方

- コナガ、ハダニ類、アザミウマ類は抵抗性が発達しやすいので、作用性の異なる他の薬剤と輪番で、1作期1回の使用としてください。
- はくさい、だいごんの幼苗期は葉害のおそれがあるので、定植活着後、8葉期以降に使用してください。
- なす、きゅうりの幼苗期(1～3葉期)には葉害を生じる場合があるので、使用しないでください。
- マメコバチに影響があるので、受粉にマメコバチを利用する場合は開花期での使用はさけてください。

### 使用にあたって

#### ■使用上の注意

- 使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出してください。
- ハウス等の常温煙霧に使用する場合は、次のことに注意してください。
  - ①専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定および使用に当っては病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
  - ②できるだけ日中の煙霧はさけ、夕刻から煙霧し、6時間以上密閉状態にしてください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節してください。



- ミツバチに対して影響があるので以下のことを注意してください。
  - ①ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
  - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
  - ③関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

- マルハナバチに対して影響があるので注意してください。
- 植物体への浸透移行性がないので、かけ残しのないように葉の表裏に十分に散布してください。
- ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようにていねいに散布してください。
- みずかけな(水掛菜)に使用する場合は、圃場内に水がない状態で使用してください。また、使用后14日間は入水しないでください。
- カラーおよび花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないでください。また、使用后14日間は入水しないでください。
- 無人航空機散布に関する注意については「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機(無人ヘリコプター等)散布・滴下に関する注意」をご参照ください。
- 本剤を無人航空機で散布する場合は、散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意して、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

#### ■混用・葉害

- ボルドー液と混用する場合は凝集することがあるので、本剤を調製した後にボルドー液と混合してください。
- きゅうり、なす、はくさい、だいごん、非結球あぶらな科葉菜類、なばなおよびセルリーの幼苗期に使用すると葉害を生じることがあるので注意してください。

- ピーマン、とうがらし類に使用する場合、品種により葉に褐点などの葉害を生じることがあるので予備散布により葉害の出ないことを確認してから散布してください。
- かき(刀根早生など)の着色期の散布は葉害を生じおそれがあるのでさけてください。
- すいかに使用する場合、葉に葉害を生じることがありますが、その後の生育に対する影響は認められていません。
- にかうりの幼苗期には葉害を生じるので、定植前には使用しないでください。定植後のにかうりに使用する場合、葉に灰褐色などの斑点の葉害を生じることがあるので予備散布により葉害の出ないことを確認してから散布してください。
- 西洋かぼちゃ(黒皮栗、青皮栗、えびず、雪化粧、みやこ、黒皮甘栗、栗味、栗マロン、芳香等)には葉害を生じおそれがあるので使用しないでください。
- ほうれんそうに使用する場合、葉に白化などの葉害を生じおそれがあるので、必ず使用時期を守って使用してください。
- ばら、食用ミニバラに本剤を初めて使用する場合は、事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。
- カーネーションへの散布は葉害を生じおそれがあるのでさけてください。
- シクラメンに使用する場合、新葉に葉害を生じる場合があるので、葉害の出ないことを事前確認してから散布してください。
- 周辺の作物にかかると葉害を生じる場合があるので、かからないよう十分注意して散布してください。

#### ■ 毒

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにしてください。

#### ■ 水産動植物への注意

- 水産動植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

#### ■ 安全使用上の注意

- 医薬用外劇物ですので取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けてください。



- 散布等の作業の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

- 常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

#### ■ 貯蔵上の注意

- 密栓し、直射日光をさけ、鍵のかかるなるべく低温な場所に保管してください。

本資料の記載内容は2024年7月25日現在の登録内容に基づいています。